

はばたけ大川

市町名 静岡市葵区

地域	旧大川村一円		代表者名	野中文慶	活動期間	平成20～24年度	
協定面積 (ha)	水田	4.20	対象面積 (ha)	水田	4.20	対象資源	数 量
	畑	97.40		畑	97.40	農用地	101.60ha
	草地			草地		開水路	2.6km
	計	101.60		計	101.60	パイプライン	
主要作物	茶、しいたけ		参加団体	農業者 大川連合町内会		ため池	
構成員	農業者	非農業者	計			農道	8.9km
人 数	212	1	213			事業費(年)	2,912,000

主 な 活 動 内 容	(基礎部分)	(農地・水向上)	(農村環境向上)
	・遊休農用地等の発生状況の把握 ・施設の点検 ・共同作業計画の策定 ・草刈り 他	・施設の機能診断 ・診断結果の記録管理 ・年度活動計画の策定 ・きめ細やかな雑草対策 ・ゲート類等の保守管理の徹底 他	・景観形成、生活環境保全計画の策定 ・広報活動 ・地域住民等との交流活動 ・学校教育等との連携 ・農業用水の地域用水としての利用、管理 ・景観形成のための施設への植栽等 ・農用地を活用した景観に配慮した作付け ・施設等の定期的な巡回点検、清掃 ・伝統的施設や農法の保全、管理

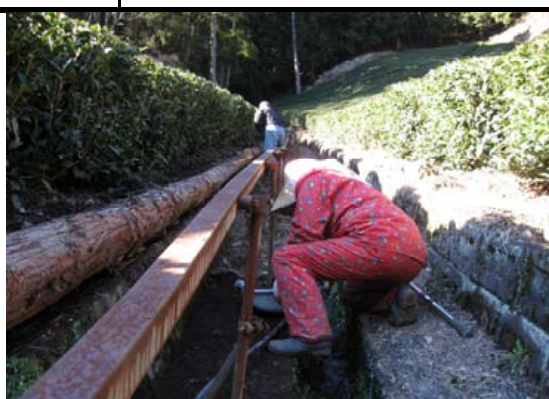
地域の概要
県内中山間地のなかでも急傾斜な地域である。清流藁科川沿いに集落を形成し、茶生産を主体にした農業地域である。市内に通勤する者も少なく農業従事者がほとんどである。近年獣害も多く農業意欲を低下させている。農道のない飛び地から耕作放棄が進んでいる。農業者の高齢化により、農道の保全管理も困難となっている。

目指すべき方向
清流、藁科川沿いの景観を良くする。耕作放棄地でレンゲ等の景観作物から共同による農業生産（そば）に取り組んでみる。子供や、非農家に農業体験をしてもらい、農業、地域に対して理解を深めてもらう。そのことで、農地・農業施設の維持管理を適正に行う。

活動の感想
6町内での会合も増し、連絡調整がスムーズで一体感が出た。

課題
農家の高齢化、減少。
耕作放棄地の増加。
農作物の鳥獣被害。
非農家の活動参加。
子供の農業・地域教育。

抱負・コメント
耕作放棄地を農家・非農家の共同活動の場とし、地域全体の得となるものとしていきたい。



農用地法面の清掃・補修



きめ細やかな雑草対策



景観に配慮した作付け